

●住民基本台帳カード●

支所での即日交付サービスが始まります

新規交付の手数料は無料です

市では、支所での住民基本台帳カード(住基カード)の即日交付サービスを行います。現在支所での住基カードの交付は、申請から受け取りまでに数日かかりますが、サービス期間中は即日交付が可能になります。

住基カードは、本人確認書類、図書利用カード、印鑑登録証、自動交付機利用カードとしての利用のほか、所得税の電子申告にも利用できます。交付手数料は無料ですので、ぜひこの機会に住基カードを取得しませんか。

期間 一之宮／6月7日(月)～7月9日(金)

荘川／6月14日(月)～7月16日(金)

※他の支所については随時お知らせします。

時間 午前8時30分～午後5時15分

持ち物 運転免許証などの顔写真付きの公的な本人確認書類

※顔写真付きの公的な本人確認書類をお持ちでない場合や、同時に印鑑登録証としての利用を希望される場合はご相談ください。

市民課 ☎35-3496

問合先 一之宮支所 ☎53-2211

荘川支所 ☎05769-2-2211

地域ぐるみで鳥獣被害防止

鳥獣被害防止計画を策定／イノシシ被害は半減が目標

野生鳥獣による農林畜産業への被害が深刻な状況にある中、市では鳥獣被害に強い地域づくり、侵入防止柵の設置や被害を及ぼす鳥獣の捕獲などの被害防止対策を総合的かつ効果的に実施することを目的とした「高山市鳥獣被害防止計画」を策定しました。

成・強化に取り組み、イノシシによる被害を5割軽減するなどの目標を定めています。計画は、県、市、農林業団体、狩猟者団体などで構成する高山市鳥獣被害防止対策協議会が主体となって推進を図ります。なお、計画の目標年次は平成26年と定めています。

問合先

農務課
☎35-3141

この計画は、①鳥獣被害に強い地域づくり②鳥獣の追い払いや被害防止施設の整備③鳥獣の捕獲や捕獲実施者の育



地域でのイノシシよけ防護柵の設置作業

環境にやさしい循環型社会をめざして

未利用の間伐材やてんぷら油などを有効活用

市では、家畜の排せつ物や稲わらなど動植物から生まれた再生可能な資源である「バイオマス」を有効活用し、地球温暖化防止や循環型社会を目指す「高山市バイオマスタウン構想」を策定しました。

掲げ、平成26年度までの5年間で家畜排せつ物や食品廃棄物などのバイオマス利用率を92%以上(現在91%)に、また、林地残材(未利用間伐材など)や稲わらなどのバイオマスは26%以上(同17%)に向上させることを目標としています。

この構想では、バイオマス利活用の基本方針として、①多くの関係者の連携②費用対効果の高い利活用の推進③民間活力の導入④農林畜産業の振興の4つを

主な取組みとしては、高山市の広大な森林から発生する間伐材を有効活用するため搬出費用への助成を行うほか、木質ペレット燃料、ペレットストーブの普及、てんぷら油のバイオディーゼル燃料化やハンドソープ化、家畜排せつ物堆肥の利用を促進するなど、バイオマスの利活用を推進していきます。



間伐材などを活用したペレット燃料。バイオマスの一つ

問合先

農務課
☎35-3141